

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	山中・中村地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・都城市	452025	1	平成22年度～ 平成24年度	平成22年度～ 平成24年度
活性化計画の区域				
山中・中村地区（宮崎県都城市山田町）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	33.4ha	33.4ha	100%	

(コメント)

目標である「定住等の促進に資する農業用排水路施設等の機能の確保」は、計画していた農業用排水路、自動転倒ゲートの整備により、33.4haの目標を達成することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	農業用排水路 L=138.0m 自動転倒ゲート N=1.0式		都城市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
山中用水組合	平成22年度	平成24年度	平成25年3月26日
事業の効果			
洪水吐きに自動転倒ゲートを設置し、用水路を整備することで維持管理の安全性向上・労力節減と作物、農用地、農業用施設等の被害軽減が図られ、農業の発展に寄与した。			

3 総合評価

(コメント)

本事業により自動転倒ゲートの設置及び農業用排水路が整備されたことから、維持管理費と労力の大幅な軽減を図ることができ、営農条件が大きく改善された。その結果、減衰傾向であった営農意欲が向上し、担い手の育成や農地の保全、地域の活性化も図られた。

4 第三者の意見

(コメント)

本地区は老朽化した堰及び未整備の土水路の管理に多大な労力を費やしている。本事業により、農業用排水路が整備され、自動転倒ゲートが設置されたことにより、維持管理費の節減と管理労働費の節減がもたらされた。高齢化が進む本地区において、農業用施設管理の軽減の意義は極めて大きい。今後とも営農意欲の向上と担い手の定着が期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)